

✳ CONTENTS

- 02 伝統工芸士と真壁石燈籠特集
- 03 イノシシ被害防止を考える
- 04 来るべき災害に備えて／交通死亡事故ゼロ連続 500 日を達成
- 05 旧紫尾小学校の今
- 06 行政情報／寄付寄贈／新しい生活様式へご協力を
- 07 まちの話題
- 08 ご長寿紹介
- 09 歴史資料館だよりNo. 85
- 10 健康ガイド
- 12 情報ひろば
- 15 文芸さくらがわ
- 16 年長さんご紹介

✳ 表紙

一日も早い終息を願って



10月10日、大和町商店街（真壁町真壁地内）などで、第6回まかべ♥街灯り十三夜祭が開催されました。

写真は、その時に頒布されたご朱印や疫病封じのお守りを手にする来場者を撮影したものです。

新型コロナウイルスの終息を強く願う来場者の表情が印象的でした。

✳ 桜川市の人口と世帯

【人口】 38,905 人 (－ 44)
【男】 19,264 人 (－ 17)
【女】 19,641 人 (－ 27)
【世帯】 13,717 世帯 (－ 3)
() は対前月増減
常住人口
令和 2 年 10 月 1 日現在

未 来
×
伝 統



真壁石燈籠を未来へ伝える
新たに3名の作家が
伝統工芸士に認定

(右から)
松崎 幸司さん (真壁町椎尾)
渡辺 幸雄さん (真壁町田)
寺西 俊雄さん (真壁町椎尾)

伝統的工芸品として、国の指定を受けている真壁石燈籠。この工芸品は、100年以上前から続いている伝統的技術や技法を用い、原材料に昔から使われている真壁御影石などを使用することや手作りで作られることなど、5つの条件を満たして、経済産業省の指定を受けたものです。茨城県では、「結城紬」「笠間焼」に次いで指定されました。

今回その伝統を受け継ぐ匠として認定された3名の方々は、それぞれ「人に喜んでもらえるような作品を作りたい」(松崎さん)「伝統を継続・継承していきたい」(渡辺さん)「石の文化を広め、後世につないでいきたい」(寺西さん)と話し、地場産業である石材業の発展と石文化の継承を強く想うその言葉には力が満ちあふれていました。

真壁石燈籠制作現場のひとコマ



真壁石燈籠の
一部を紹介



勸修寺型燈籠



三月堂形燈籠



高桐院形燈籠